

具体的には、上記鹿児島YEGの月1回の例会として、「天文館11月灯」と題し、一般の参加者や会員においてランタンを作成し、それを天文館の各店舗に飾らせてもらい、それを観客に楽しんでもらいました。また、実際に作成してもらったランタンについては、後日コンテストも行いました。



11月度事業「天文館11月灯」

イ、コロナ後の観光に向けた活動

鹿児島YEGは、鹿児島市に本拠を置きますが、鹿児島市にある鶴丸城では、明治6年(1873年)に焼失した正門である御楼門が2020年3月に復元完成しました。

御楼門は、新たな観光拠点として、文化施設等が集積する歴史・文化ゾーンの充実や回遊性の向上による交流人口の拡大に寄与することを目的として復元されています。

このことから、鹿児島YEGとしても、コロナ収束後に御楼門に観光客に来てもらえるよう、イメージを膨らませていただけるように、9月例会において「ゆくさかごつまプロジェクト」として、専門家の案内により実際に「まち歩き」をし、御楼門自体や御楼門周辺の散策スポットをマップにまとめました。また、360度カメラを活用したこれら散策スポットの全天球動画も公開致しました。

また、当例会で作成した散策マップ及び写真画像は広く一般公開するだけでなく、個人利用・商用利用問わず一般利用可能とし、会員制交流サイト(SNS)やウェブページでの利用をできるようにしました。この試みは反響を呼び、新聞等メディアにも取り上げられました。